

急速に進む高齢化社会と心血管病の予防



我が国は世界に例をみない超高齢化社会を迎えています。平均寿命は延長しつづけ、2015年には男性81歳、女性87歳を超えており、高齢化率(65歳以上の人口に占める割合)は26%を超えています。一方で、平均寿命と健康寿命(介護を必要としなくなるまでの年齢)の差は広がっており、その差は男性で約9年、女性で約12年といわれています。高齢化率はさらに上昇(2060年には40%)を続ける一方で総人口は減り続け2060年には9000万人になるといわれています(2015年は1億2700万人)。

死亡原因をみますと2015年はがんが29%、心臓病が15%、脳卒中が9%ですが、年代別にみると、65歳以後はがんによる死亡は減り、心血管病と呼ばれる動脈硬化を背景とする心臓病や脳卒中等などによる死亡が増えます。健康寿命を短くする原因は、運動器の障害、脳卒中や心臓病、認知症が主なものであり、がんの占める割合はわずかです。高齢化がすすむと、寿命や健康を阻害する原因の主体が動脈硬化を基盤に発症する病気となってゆきます。

本講演では、こういった社会的背景を紹介しながら、どうすれば動脈硬化の進行を抑え、心血管病を予防するかという内容の話をする予定です。ぜひ、参加ください。

日時： 2017年 **5/27** (土) 16:00-17:00頃
(受付15:30-)

会場： 広島大学東京オフィス408号室

〒108-0023 東京都港区芝浦3-3-6 キャンパス・イノベーションセンター
【アクセス】

J R山手線・京浜東北線-田町駅(芝浦口)下車 徒歩1分
都営三田線・浅草線-三田駅下車 徒歩5分

定員： 50名程度

参加費： 無料

申込方法：E-mailまたはお電話にて①～⑥をお知らせいただき、下記までお申込みください。

- ①氏名 ②メールアドレス ③入学等年月 ④卒業・修了等年月
⑤在学時等の所属学部/大学院 ⑥(元)勤務先名称(任意)

講師：山科 章(やましな あきら)

<経歴>

1970年3月 広島学院高校卒業
1976年3月 広島大学医学部医学科卒
1976年4月 聖路加国際病院内科
1999年4月 東京医科大学循環器内科主任教授
2017年4月 東京医科大学特任教授

<学会・研究会認定医等>

日本循環器病予防学会理事長
日本内科学会総合内科専門医
日本集中治療医学会専門医
日本循環器病学会専門医

申込・お問い合わせ

広島大学校友会東京事務局(広島大学東京オフィス内)

〒108-0023 東京都港区芝浦3-3-6 キャンパス・イノベーションセンター409号室

TEL: 03-5440-9065

FAX: 03-5440-9117

E-mail: koyutk@hiroshima-u.ac.jp

